

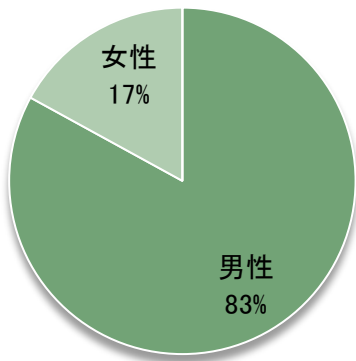
JAXA タウンミーティング in 東京農工大学 開催報告

平成 27 年 11 月 14 日、JAXA タウンミーティング in 東京農工大学 “新たな一歩、空への挑戦” を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる航空機の技術開発について話題をお伝えし、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

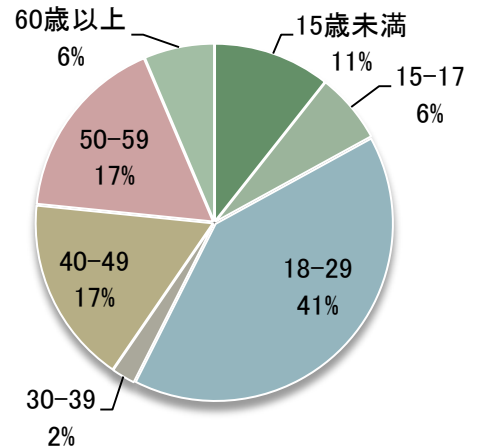
- 開催日時 平成 27 年 11 月 14 日（土） 15:30～17:00
- 会場 東京農工大学 小金井キャンパス 140 周年記念会館 3 階ホール
- 参加者数 65 人
- 登壇者
 - ・ JAXA 航空技術部門 D-SEND プロジェクトマネージャ 吉田 憲司
 話題：「超音速旅客機の夢、再び —JAXA 超音速機技術の最前線—」
 - ・ 東京農工大学工学研究院先端機械システム部門 准教授 西田 浩之
- 進行コーディネーター
 JAXA 広報部 部長 上垣内 茂樹

アンケート回答者の属性（有効回答数：47）

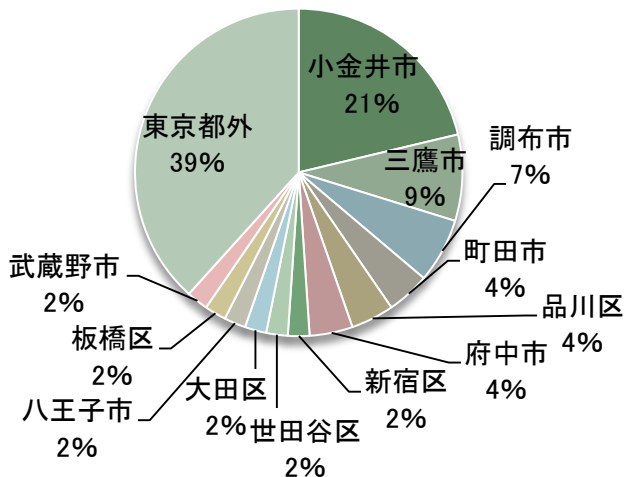
1. 性別



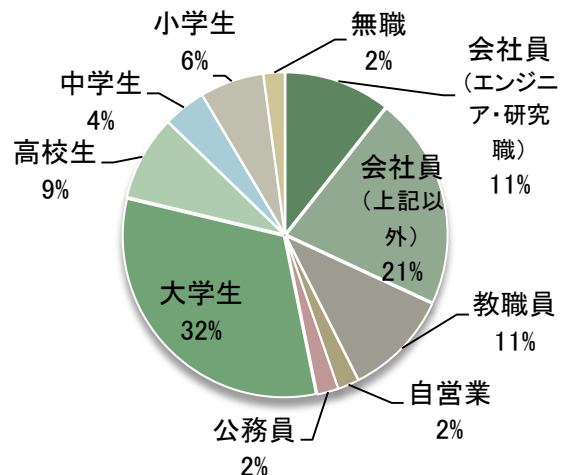
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇「超音速旅客機の夢、再び —JAXA 超音速機技術の最前線—」

- ・ 実用化に向けて大学の研究者が貢献できる部分はあるか。
- ・ NASA と別々に開発するのではなくもっと協力して開発することはできないか。
- ・ 翼の中から翼が伸びてくるという発想はあるか。
- ・ 宇宙科学研究所で研究しているプラズマアクチュエータを導入する計画はあるか。
- ・ 積極的に研究開発すると同時に世間に活動や実績をもっと知らせることも大事。
- ・ 日本も企業や大学などが連携して世界をリードする技術を開発してほしい。
- ・ 航空関係の技術面で多くの先進的な点があるものの、実用化できていないものも各種あると思うのでもっと実用化を進めてほしい。

「どんな航空機の技術開発が必要だと思いますか？」

- ・ 都心に近い場所でも利用できる低騒音、短距離離着陸の技術。
- ・ 運用（離陸、着陸からメンテナンスまで）含めて低コストの航空機
- ・ 火星探査における低高度観測のための火星用の航空機
- ・ 地方の小空港からでも飛び立てるような音速旅客機。地方創生の大きな推進力になると思います。
- ・ 環境と安全、国際的な協力での開発など
- ・ 滑走路がなくても飛べるジェット機を作ってください。
- ・ 乗り心地の良さ、空港周辺住民の理解が第一なので騒音抑止技術
- ・ 超音速旅客機、同貨物機（災害救援等）
- ・ 低コストで運航できる旅客機
- ・ より早くより快適な航空機の開発が世界の繁栄には必要だと思いました。
- ・ 低燃費かつ安全性に優れる技術

■タウンミーティング、その他について

- ・ もっと頻繁に開催してほしい。
- ・ もっと都内でたくさん開催してほしい
- ・ とてもよい催しだと思います。もっと告知したほうが良いと思います。
- ・ 地方での開催をお願いします
- ・ 広報活動の拡充、かつてあった JAXA-i のような広報施設（無理なら小さいグッズ売り場規模からスタートでも）、御茶ノ水ソラシティの開場時間や曜日の拡大
- ・ 主催者側と参加者側の距離が遠い。グループごとに分けて配置すべき。
- ・ とても良い機会であり、多くの国民に理解してもらえものとする。
- ・ タウンミーティングについてはもっと時間をもうけ、いろいろなことが質問できるようにしたら良いと思いました。

